

# 本の森百景

京橋図書館だより  
第7号

令和6年3月11日号

中央区立京橋図書館  
中央区新富一丁目13番14号

今号の特集 次代を担うティーンズの知の発見を支援する Teens コーナー



- 2・3 特集  
3F Teens コーナー
- 4 3階のフロア紹介
- 5 街ある記  
～湊地区～
- 6 地域資料室フロア案内
- 7 2023年8月～  
2024年1月開催  
本の森イベント報告
- 8 京橋図書館の使い方  
図書館を使った調べ方の巻

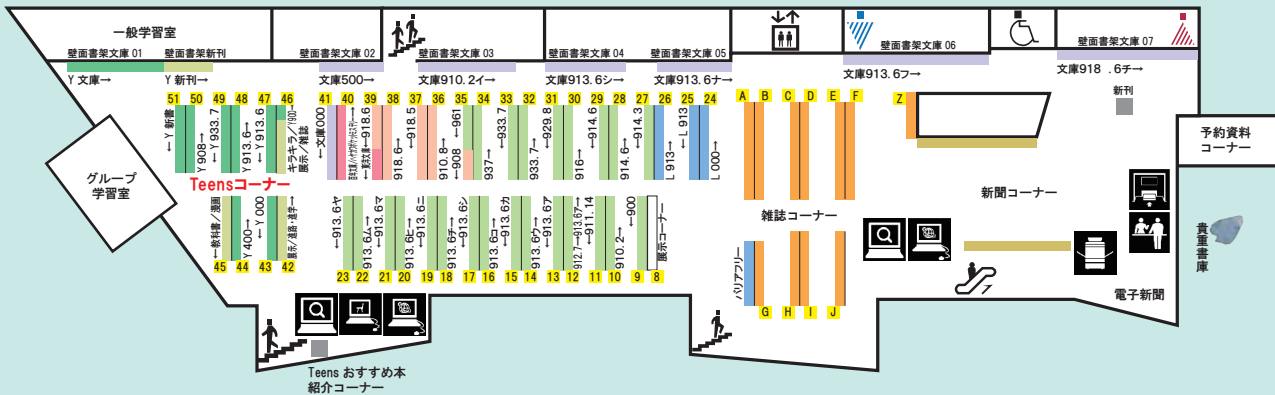
※上記の写真はすべて3Fフロアの写真です



本の森  
ちゅうおう  
HON no MORI CHUO



中央区立京橋図書館 Chuo City Kyobashi Library  
中央区立郷土資料館 Chuo City Chuo Historical Museum



### ★ 職場体験

中央区立中学校から職場体験の依頼を受け、生徒を受け入れました。みんな図書館の仕事に熱心に取り組んでくれました。2023年度は、4校から19名の中学生が参加しました。



職場体験で作成した中学生おすすめ本 POP

### ★ 高校生直木賞

全国の高校生たちが集まり、直近一年間の直木賞候補作から「今年の一作」を選ぶのが「高校生直木賞」です。議論の様子を描いたグラフィックレコーディングパネルをお借りして、2023年12月22日（金）から2024年1月18日（木）まで1階エントランスホールに展示しました。



グラフィックレコーディングパネル

### ★ 乙女の本棚

文豪の名作に、人気イラストレーターが絵を描き下ろした『乙女の本棚』（立東舎刊）シリーズ。2016年にスタートし、2023年末時点で37冊が刊行されています。このシリーズのパネル展を、2023年10月2日（月）から10月25日（水）までティーンズコーナーで行いました。



「乙女の本棚」パネル展の様子

### ★ ビブリオバトル

2月3日（土）に、銀座中学校、佃中学校、晴海中学校、日本橋中学校の中央区立4中学の予選を勝ち抜いたバトラーによる「第2回ビブリオバトル本森カップ」を開催しました。ビブリオバトルとは、自分が面白いと思った本を他の人に紹介する「書評合戦」のことです。バトラーの発表を聞いて、読みたいと思った本に投票して、チャンプ本を決定します。当日は熱いバトルが繰り広げられ、銀座中学校が紹介した『ない世界』（江口宏志／著・木楽舎）がチャンプ本に輝きました。



各校選りすぐりの精鋭バトラーたち

### ★ 中井はるの先生講演会『児童文学と翻訳の魅力～大人も楽しい児童書～』

1月28日（日）に、本の森ちゅうおう開館一周年イベントのひとつとして、『グレッグのダメ日記』や『Wonder』など数々の人気作品の翻訳を手掛ける中井はるの先生をお招きして講演会を開催しました。先生にはこれまでに関わった作品のこと、翻訳時の表現方法、制作裏話、先生ご本人による朗読、ピーターラビットの作者ビアトリクス・ポターのことなどたっぷりとお話いただきました。会場には中井先生の貴重なコレクションであるパネルや図書、グッズなどを展示いただき、多くの参加者が楽しんでいらっしゃいました。



翻訳について語る中井はるの先生



「ピーターラビット」の縫いぐるみ

# 本森ピックアップ

3F

Teens  
コーナー篇

こどもコーナーの本は物足りないけど、大人向けの棚には馴染みにくい……。そんなティーンズに向けた本をたくさん集めました。調べものに、勉強の息抜きに、趣味の読書にぜひ足を運んで下さい。京橋図書館 Teens コーナーへようこそ！

## Teensコーナー



3階の Teens コーナーはティーンズ向けの資料がいっぱい。好きな本に囲まれて、あなたの世界観がきっと広がります。

### ①My favorite book (おすすめ本紹介コーナー)

「この本を、もっとたくさんの人に読んでもらいたい！」そんなあなたの情熱を文字で、絵で、自由に発信できるコーナーです。あなたのおすすめが、次の人へのおすすめに繋がります。みんなで作った読書の輪を広げていきませんか？(中央区立図書館で所蔵している資料に限ります。記入内容によっては掲示を見合わせる場合もあります。)

### ②キラキラ BOOK ランキング

前年度に出版された本の中から、ティーンズの皆さんにおすすめしたい本をティーンズ担当がピックアップして、ランキング形式のリストを作っています。時には担当者同士で意見がぶつかることも！？図書館員の熱い想いが結晶したブックリスト、本選びの一助にどうぞ。

### ③グループ学習室

四方をガラスに囲まれた明るい空間で、仲間と一緒に調べものや学習ができます。利用当日に、3階メインカウンターで利用申請をして下さい。また、春には通りを挟んだ桜川公園に咲く桜を見られます。勉強に疲れたら窓の外に目を向けてみては。

(利用対象：小学4年生～高校3年生の2～8名のグループ)

### ④進路進学コーナー

ティーンズにとって、重要な選択となる進路、進学。岐路に立ち、迷った時役に立つような学校案内や職業紹介などの資料を置いているのが進路進学コーナーです。資料の背ラベルに貼ってある、黄色いシールが目印。



進路進学コーナー



あなたの「My favorite book」、お待ちしております。



「キラキラ BOOK ランキング」上位の本には作者によるコメント付き。



勉強しながらおしゃべりもできる「グループ学習室」。

# ティーンズ コーナー以外の 3階のフロア紹介!

## 【本の森へようこそ・文学コーナー】

3階は文学をメインとしたフロアです。東西の文豪の作品だけでなく、話題の小説やエッセイ、詩歌のほか、海外文学の翻訳書やティーンズ向けの本も多数揃えています。一面に並ぶ文庫本の壁も圧巻です。本に親しむ場「本の森」への入り口としてぜひご利用ください。



文学コーナー

## 【バリアフリー】

大きな活字で印刷し、読みやすく工夫された「大活字本」の棚に、題材が大人向けの「シニア向け紙芝居」や辞書などをご用意しています。また、雑誌棚の一部に点字の刊行物を置いて他、録音図書（デイジー図書）を書庫に保管しています。館内でお読みいただけるほか、一部の方に貸出も行います。カウンターでお尋ねください。



バリアフリーコーナー

## 【新聞・雑誌コーナー】

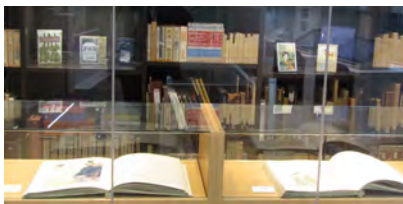
三段の雑誌棚に、様々な雑誌をジャンルに分けて配置した雑誌コーナー。最新号ラックを兼ねた扉の中には貸出可能なバックナンバーが収納されています。各種新聞を揃えている新聞コーナーは、バックナンバー棚を兼ねた書見台があり、新聞を広げるのにちょうどいい大きさです。一部、新聞のバックナンバーは倉庫に保管していますので、閲覧ご希望の際はメインカウンターへお越しください。



新聞・雑誌コーナー

## 【貴重書庫】

戦前に出版された資料をメインに、内務省検閲図書や錦絵などの貴重な資料を保管している貴重書庫。その所蔵資料の一部を展示ケースに入れて、フロアから見られるようにしています。館内閲覧も可能ですので、気になる資料がありましたらスタッフへお声がけください。



貴重書庫の見せ棚

## 【予約資料コーナー】

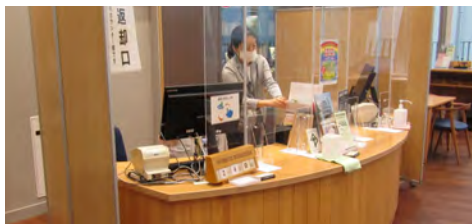
予約した資料をご自身で受け取るコーナーです。予約照会機で図書館利用カードのバーコードを読み取ると、用意できている資料の棚番号が印字されたレシートが出ます。棚番号をもとに資料を取り出し、部屋の中にある自動貸出機で貸出を行ってください。



予約資料コーナー

## 【メインカウンター】

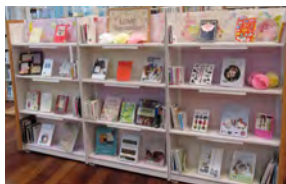
資料の貸出や座席予約の際に必要な「図書館利用カード」の発行や更新、電子書籍貸出サービスの登録のほか、資料の予約、簡単なレファレンスなどを行います。カウンターの隣に、人を介さずに資料を返却できる自動返却機と予約資料コーナーが設置されています。



メインカウンター

## 【展示コーナー】

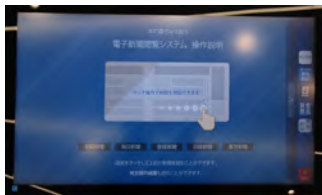
「図書館員のおすすめ本」「ノスタルジックレトロモダン」「一杯いかがですか?」などのテーマを設定し、それに合わせた資料を集め、展示しています。定期的に入れ替える行っていますので、ぜひ足をお運びください。展示コーナーを彩る、図書館員力作の飾り付けにもご注目!



展示コーナー

## 【電子新聞】

2階からのエスカレーターを上がってすぐ右にある、2台の大きなディスプレイ。実はこれ、電子新聞の端末なんです。スマートフォンやタブレットと同じ感覚で操作することができ、拡大縮小も思いのまま。朝日、毎日、日経、東京産経の5紙が閲覧可能です。



電子新聞

# 「街ある記」

## 「湊地区」

湊地区は、居留地中央通りを挟んで入船の東側に位置し、地区の東端は亀島川、隅田川に面しています。亀島川はとりの新川地区との間に流れる川で、両地区を結ぶ橋として架橋された「南高橋」は明治期の鋼鉄トラス橋を用いた現役の道路橋としては全国的にもめずらしく、区民有形文化財に登録されています。



南高橋

また湊三丁目の佃大橋橋詰（湊三丁目18）には、佃の渡しと呼ばれ、江戸時代から昭和期までの約320年間、人々の生活を支えてきた佃島

渡船の発着場所の跡地「佃島渡船場跡」があり、舟運の歴史を伝える貴重な史跡として、対岸の跡地（佃一丁目11番4号佃公園内）とともに、区民史跡に登録されています。



佃島渡船場跡（中央区ホームページより）

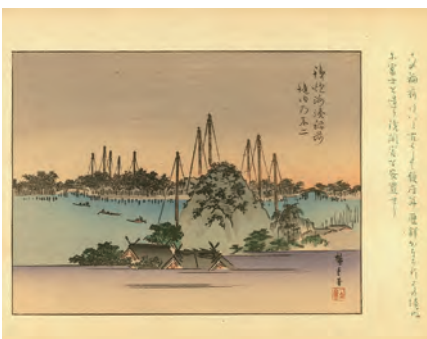
「湊」の町名は、江戸時代に各地から物資を運んできた船が荷を揚げ、艇が行き交うなど、江戸湊として栄えたことからつけられたとされます。昭和46年の住居表示実施に伴う町名変更により、戦前までの新湊町、湊町から湊になりました。

### 【鐵砲洲稻荷神社】

てつぱうずいなりじんじや

湊一丁目にある鐵砲洲稻荷神社は、かつて江戸湊に面していたことから諸国の船の往来が多く、船員たちにもその名が広く知られ、崇めら

れていました。明治元年に現在の場所に移り、社殿や神楽殿などは関東大震災後に再建されたもので、区民有形文化財に登録されています。また、神社には区内唯一の富士塚があり、こちらは区民有形民俗文化財に登録されています。当館所蔵の錦絵、歌川広重「東都名所年中行事六月鉄砲洲ふじ詣」にも境内に大きな富士塚と参拝者が描かれていて、当時の富士信仰の一端が窺えます。現在



上)「鉄砲洲湊稻荷境内乃不二」  
左)「東都名所年中行事六月鉄砲洲ふじ詣」



「鐵砲洲稻荷神社」  
(中央区ホームページより)

も富士山の溶石を取り寄せて造られたというゴツゴツとした岩肌の富士塚の存在感は健在です。当社は5月に例大祭が行われ、歌舞伎座を含む氏子を神輿が巡ります。平成19年より区内の小学生が歌舞伎を演じる「新富座こども歌舞伎」も神楽殿で行われ、子供たちが伝統文化を伝える場にもなっています。

#### 参考文献

- ・『中央区三十年史上』
- ・『中央区史上』
- ・『Jr.中央区文化・歴史ずかん』
- ・『東京都神社名鑑』
- ・『中央区ホームページ・中央区内の文化財』

# 地域資料室をどんどん有効活用しよう！

地域資料室は、中央区や東京都に関するさまざまな疑問や調べものにお応えするための「知」のコーナーです。今まで書庫で保管していた都内各所の資料や雑誌のバックナンバー、社史など地域資料室内で、自由にご覧いただけるようになりました。また、毎月テーマを設定して展開する特集展示のほか、中央区にゆかりのある人物や事柄の資料などを「中央区ゆかりの本」コーナーにて紹介しています。

また、コピー機や学習用端末機も設置し、資料の複写やインターネット、各種データベースを活用した調査・研究・調べものができるようになりました。地域資料室内の開架資料数は2024年1月現在20,738点、閉架・貴重書庫には、和書や戦前資料などが46,847点あります。閲覧を希望される方は、地域資料室カウンターでお申し込みください。また、貴重な資料をデジタル化した画像データが14,652点あります。こちらは図書館ホームページで見ることができますので是非ご利用ください。

## 地域資料室フロアマップ (2024年2月15日現在)

### 行政資料

東京都や中央区が発行している行政関係の資料を所蔵しています。

- 東京都中央区議会会議録
- 東京都統計年鑑
- 中央区政年鑑
- 国政調査
- 中央区の防災・子育てなど



### 雑誌・東京の地図・中央区の住宅地図

東京都や中央区で出版された雑誌。東京の地図や中央区の住宅地図を所蔵しています。

- 中外商業新報など



住宅地図



カウンター



学習用端末  
(利用は要申込)



コピー機

東京都中央区行政関連

(KG)

雑誌・東京の地図

中央区の住宅地図



自動貸出機



検索機



出入口

2023年8月～  
2024年1月開催

# 本の森イベント報告

下期に開催されたイベントを開催順にご紹介いたします。さまざまな感動の数々を生んだイベントをご覧ください。

## 2023年8月13日（日） シーボルト来航200年記念講演会 「シーボルト父子伝」

フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトの日本来航200年を記念して、その子孫で日本シーボルト協会の関口忠相氏に「シーボルト父子伝」と題して、シーボルトの歩んだ歴史やその子であるアレクサンダー、ハインリッヒ兄弟についてや日本で初の産科医になった楠本イネなどについてお話いただきました。講演会後は、シーボルトに関するパネルや年表、書籍等の展示会も3日間開催しました。



関口忠相氏

## 2023年9月23日（祝・土） ビジネス講座

### 「AI スタートアップと知的財産」

最近耳にはするけれど、よく知らない言葉「AI スタートアップ」、「知的財産」。その理解を深めるため、弁理士である白坂一先生にAI スタートアップや知的財産、特許に関する話を事例や判例、実際の公判記録などを交えながら講演して頂きました。起業を目指している方や、実際に起業した方などから実務的な質問も多く、ビジネス講座に対する関心の高さが窺えました。



白坂一先生

## 2023年11月23日（祝・木）

### 「銀座の今と昔をめぐるトークショー」

銀座が歩んできた歴史と変遷、その魅力をテーマに、銀座丸八株式会社代表取締役社長・松澤芳邦氏に「銀座はなぜ日本一の街になることができたのか？」を、「BRUTUS」編集長・田島朗氏に「文化を継承する街、東銀座」を、和菓子店「木挽町よしや」3代目・斉藤大地氏に「ものひと繋がる銀座の街」を語って頂きました。後半は3名のパネリストによるトークセッションで盛り上がりました。



左から田島朗氏、松澤芳邦氏、斉藤大地氏

## 2023年12月2日（土）京橋図書館開館1周年記念 田中優子先生講演会

### 「葛屋重三郎とその仲間たち」

京橋図書館開館1周年を記念して、前法政大学総長田中優子先生による「葛屋重三郎とその仲間たち」講演会を開催しました。葛屋重三郎は不世出の編集者、日本橋通油町の「耕書堂」で出版・書店を営み、また2025年NHK大河ドラマの主人公でもあります。江戸文化を花開かせた葛屋重三郎と彼がプロデュースした山東京伝、恋川春町、北斎、歌麿、写楽などについて、様々な資料や逸話を交えてお話いただきました。



田中優子先生

## 2023年12月3日（日）

### 児童イベント クリスマス子ども会

恒例のクリスマス子ども会を開催しました。0～2歳児向けと3歳以上向けの2回に分けて行い、大型絵本やクリスマス絵本等を読み聞かせました。中でもパネルシアターは、みんなで歌を歌い、とても盛り上がり、楽しんでくれました。ゲストのサンタクロースが、英語の本の読み聞かせを行うと、みんなが真剣に聞き入っていました。思い出に残る素敵なクリスマス子ども会になりました。



ゲストのサンタクロースも訪れたクリスマス子ども会

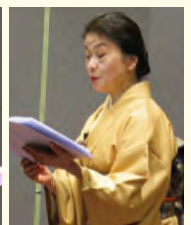
## 2024年1月14日（日）朗読グループ「も・ある」 本の森ちゅうおう朗読会

### 「この街に息づく文人たち」

朗読グループ「も・ある」の塙野ひろ子氏と千葉小津江氏に、中央区ゆかりの文豪の作品を朗読していただきました。午前の部は芥川龍之介「お富の貞操」、岡本かの子「鶴は病みき」を、午後の部は永井荷風「雪解」、谷崎潤一郎「陰影礼賛」を。さらに各回共通で「竹久夢二の世界」を語って頂き、朗読の魅力をご披露頂きました。



塙野ひろ子氏



千葉小津江氏



# 京橋図書館の使い方 図書館を使った調べ方の巻



調べものをしているけど、  
どんな本に出てるんだろう？  
どうやって調べたらいいのかな？

図書館ホームページに  
参考になるページがあります。  
トップ画面の右端のバナーに  
「調べ方一覧」があります。  
(下の画面の○の所をクリック)



用者メニュー

図書館からのお知らせ

図書館コンテンツ

パスファインダー

パスファインダーとは、知りたい情報を探すのに役立つ資料活用してみてください。

入門編

図書館の検索機で本を探そう(PDFファイル: 231KB)

本の並び方(PDF:228KB)

一般編

医療情報を調べる(PDF:323KB) **クリック**

法律情報を調べる(PDF:283KB)

ビジネス情報を調べる(PDF:350KB)

子育てについて調べる(乳児編)(PDF:277KB)

子育てについて調べる(幼児編)(PDF:251KB)

劇例について調べる(PDF:324KB)

中央区について調べる(歴史編)(PDF:238KB)

「パスファインダー」のページで、図書館の検索機の使い方や、本の並び方、疑問の事柄(医療情報、法律情報、ビジネス情報、子育てなど)について、調べ方の案内なども紹介しています。



病気について調べたいから、  
「医療情報を調べる」  
のページを見たよ。  
参考資料以外にも、  
インターネット情報や、  
雑誌なども紹介されていたよ。

京橋図書館では、4階にある  
レファレンスカウンターでも、  
参考になる図書を調べて紹介  
します。ぜひ、お問い合わせせ  
ください。



レファレンスカウンター

京橋図書館に無い資料でも、中央区の他の図書館や、東京都の別の自治体の図書館などからも、取り寄せる事が出来る資料もあります。  
発売前の図書は、出版社の発売日の1か月前、雑誌は出版社の発売日の1週間前から受付しています。  
中央区の図書館では、リクエストカードを記入してカウンターへ提出していただきます。



## 編集後記

本の森ちゅうおうは、昨年12月に無事1周年を迎えることができました。これも偏に皆さまのご愛顧の賜と厚く御礼申し上げます。今号では、3階フロア、特にティーンズコーナーにスポットをあてました。本の森ちゅうおうに移ってからは中高生の利用が増えていますが、これからも、ティーンズの皆さんに本を読む楽しさをお伝えし、新たな知の発見を支援し、そして安心して過ごせる居場所を提供してまいります。どうぞ、ご期待ください。

京橋図書館長